

2025年8月17日 聖霊降臨後第十主日礼拝説教
「いまから永遠に」(ルカ12章49～56節)

○ルカ12章49節のみことば

「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。」

＊火：①闇に覆われた心を燃やして、命の灯を照らす

②精錬の火のように、人の心を浄めて、穢れを除く

③救いを拒む者が焼き尽くされる〈神の裁き〉を示す

☞神の子イエスは、世に神の救いと裁きを現わすために来た。

この方を信じるか否かで、人々は別々の道を歩むことに。

※諸刃の剣なるイエスを畏れ、神の御声に聞く者となろう。

○ルカ12章50節のみことば

「しかし、わたしには受けねばならない洗礼がある。それが終わるまで、わたしはどんなに苦しむことだろう。」

キリストは、十字架による〈苦しみと死の洗礼〉をとおしてあなたのため、恐ろしい裁きを受け、神の怒りを鎮められた。

☆十字架の上で裁きの火に燃やされた救い主を仰ぎ見よう。

今日のみことば：ルカ12章51節

「あなたがたは、わたしが地上に平和^{ちじょうへいわ}をもたらし^きために来たと思うのか。そうではない。言っておくが、むしろ分裂^{いぶんれつ}だ。」

＊分裂：キリストのゆえに、すべての人が二つの端と端に選り分けられること

☞従うか拒むかで、いまから永遠に至る命の矛先が定まる。

○ルカ12章56節のみことば

「どうして今の時を見分けることを知らないのか。」

わたしたちも、絶えず、みことばのうちに立つキリストを真直ぐに見ながら、来たるべき救いと滅びの時に備えよう。

※ひとりでも多くの人の救いを願う祈りが途切れぬように。